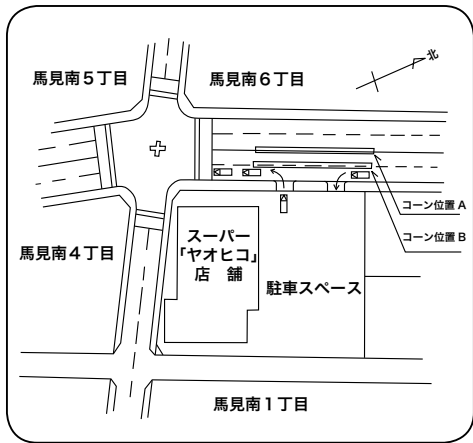


●吉田信弘議員●

「ヤオヒコ」の出入口の安全対策について

**問** 馬見南一丁目地内でスーパーヤオヒコは、年中無休で営業されています。このたび、安全対策について協議をお願いしますのは、ヤオヒコ駐車場に入りまする車輦です。駐車場の入口には「右折入場禁止」、出口には「右折禁止」のそれぞれの看板が設置されています。しかし、これらを守らず右折で入場する車輦、右折で出る車輦があり、特に夕方時は危険です。数人の方に聞き取りをしましたところ、特に馬見南一丁目、四丁目の人はヤオヒコの前を通ることが多いので何とかしてほしいとの声が上がっています。同じスーパーでおくやま上牧店の場合は、西側道路（二車線）中央に「赤いコーン」が置いてあり、ガードマンも入口に一人、出口に一人と安全対策が取られています。安全対策を考える時、「赤いコーン」の設置は最も効果があり、下の地図のコーン位置A及びBについては検討が必要です。そして、この対策には地元周辺自治会の意見が必要になると思います。早急なる解決を望みます。



**平岡町長** 駐車場に入りまする車輦と、交差点を通過する車輦の両者についての安全対策器具や分離帯の設置など、最も有効な方策について、道路管理者である町、香芝警察署、地元自治会、ヤオヒコの四者で協議をもっているところであります。先日、地元自治会とヤオヒコが協議の結果、二ヶ所の出入口に大きな看板やガードマンを増員し、プラカードにより右折禁止を促す対策が実施されることとなっています。今後、具体策の「おくやま上牧店」の実態把握と共に地元自治会の皆さんの意見を聴きながら、安全、安心の確保に努めてまいります。

**理事者** 香芝警察署は、コーン設置については道路幅員をクリアしているので設置可能との回答でした。

●青木義勝議員●

旧清掃施設跡地の現況・10億円で売却予定の土地は

**問** 整備事業の現況と10億円で売却したいと言明もされ、予算計上もされているので、現状の詳細な説明を。買主のいない要因は何か。例えば、公園の代替え等付加価値も研究され、買主にも魅力のある資産とするべきと思うが。宅地よりも高値売却もできる。公・民を問わずに研究。研修所等の誘致ができれば、植栽も利用でき、最善と思うが。売値の減額は考慮されているのか。大切な公有財産であるので安売りはしないで、社会情勢を見据えてより良い対応をお願いします。

**平岡町長** 旧管理棟は集会所と環境学習施設として1月より稼働予定。10億円の未売却の件は住宅需要や地価の下降傾向、また旧清掃施設跡というイメージもあるゆえ、10億円は高い、分割でという要望もあり、売却条件の譲歩も考慮しています。集会所や環境学習施設のオープンに伴いイメージアップとなり需要の好転を期待している。値下げは現在考えていない。

職員削減の財政への貢献度を問う

**問** ①減員1/3（100名）を達成したと町長の後援会会報で示された。年度ごとの減員数、削減金額を。②減員により起債（借金）残高減につながっているのか。経常収支比率への反映には。③現在採用中の支援スタッフ、3年期限付き臨時職員等の職種別の人数と人件費を。減員は一応到達か。利点、欠点を十分に精査をされ、減員の成果を示すべき。人事も安定させ、適切な新規採用をされ、健全な士気ある職員が業務精励をして、住民ニーズに応える役場になることで減員の苦勞が報われ、成果につながると思うが。

**平岡町長** ①平成14年度13人、15年度27人、16年度11人、17年度7人、18年度12人、19年度7人、20年度採用分を差し引き1人、21年度15人、22年度15人、合計108人。平成21年度と13年度決算額の人件費の差額は5億500万円です。②起債の増減に関係なし。経常収支比率の改善に寄与している。③施設管理サービス公社職員14人、人件費7,600万円、支援スタッフ127人、人件費2億2,500万円。成果を出す努力をいたします。